

第2号様式の6（第11条の4の11関係）

自衛消防訓練実施結果記録書					
実 施 日 時	2025 年 2 月 22 日 10 時 40 分 から 11 時 00 分 まで				
実 施 場 所	放課後等デイサービス メイプル				
実 施 範 囲	<input checked="" type="checkbox"/> 全 体 ・ <input type="checkbox"/> 部 分 （棟 階）				
訓 練 想 定 （該当する□にチェックをし、具体的な内容を記載する。）	<input checked="" type="checkbox"/> 火災 ・ <input type="checkbox"/> 地震 ・ <input type="checkbox"/> その他の災害（ ） 具体的な内容：洗い場、電気コンロより出火→大横町公園へ徒歩避難 避難手順 ① 職員の「火事だ！」を合図に各自上着を着て玄関に集合する。 ② 消火担当の職員は消火器を持って洗い場で消火活動をする。 ③ 担当職員と手を繋ぎ点呼をとる。 ④ 靴を履き大横町公園まで歩く。 ⑤ 到着後安全を確認し点呼をとる。 ⑥ 「お・か・し・も」の再確認。				
訓 練 項 目 等 （該当する□にチェックをし、参加人員を記入する。）	<input type="checkbox"/> 総 合 訓 練			名	
	個別 訓練	<input type="checkbox"/> 消火訓練	名	<input type="checkbox"/> 通報訓練	名
		<input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	7 名		
		<input type="checkbox"/> その他（ ）			名
訓 練 参 加 者 内 訳	従業者・非常勤含む（全員・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部） 4 名 通所児童（全員・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部） 3 名				
訓 練 指 導 者	職 児童発達支援管理責任者 氏名 山崎浩子				
結 果 へ の 意 見	全 体 の 評 価	・約束を守り、落ち着いて避難できた ・私語がなかった			
	推 奨 事 項				
	反 省 点	予告をしての訓練だったため、児童も落ち着いて行動できたと思われる。 抜き打ちでの避難訓練も検討していきたい。訓練バックの中身の確認を定期的に行う必要があると感じた。寒い時期の避難は、上着を着るため、日常的に個人の荷物の整理整頓をしておくことが大切と感じた。火事想定 の訓練なので煙についての注意を話し、ハンカチの確認をしなければ いけなかったのだが、できなかった。次回は徹底したい。			
記 録 作 成 者	職 児童発達支援管理責任者 氏名 山崎浩子				
備考 1 総合訓練とは、火災の覚知又は発見から消防隊到着までの初期消火、通報連絡、避難誘導、消防隊への情報提供などの一連の自衛消防活動に係る訓練をいう。 2 訓練の事前計画や実施記録等を別に作成した場合は、添付しておくこと。 3 自衛消防訓練実施結果記録書は、3年間保存すること。					

（日本産業規格A列4番）